

読んでみよう 解いてみよう さん太のワークシート

福山市の豆菓子メーカーがあるプロジェクトを始めました。記事を読み、質問に答えましょう。

福山の豆菓子メーカー



海を望む高台にナッツ畑を目指して整備された元耕作放棄地

1869年創業の徳永製菓(福山市胡町) 広がる高台の耕作放棄地が取り組む。瀬戸内海 地約2700平方メートル

瀬戸内に ナッツ畑を

瀬戸内の島にナッツの産地を。福山市の老舗・豆菓子メーカーが、尾道市瀬戸田町垂水の耕作放棄地をナッツ畑に変えるプロジェクトを始めた。かわいらしい花を咲かせるアーモンドなどで景観美化に貢献するとともに、社員が栽培に関わることで将来の商品開発への期待も込める。(安田有輝)

尾道 耕作放棄地開墾し植栽

マカダミアナッツやクマダミヤナッツ、クマダミヤナッツなど6種類約100本の苗木を植栽。地質との適合などを見極めていく。今月2日には社員やその家族ら約40人が参加し、約70本の苗木を植えた。参加者は根をほくしながら、うねにならぬように土をたいて、等間隔で掘った穴に入ると、土をかけた。育っていく。早ければ4、5年後に収穫が見込めるといい、素焼きなど自社製品に加工して、活用する。上道豊社長(55)は、同社の創業200年ナッツ製品の売り上げは増え、人気が高まっているが原材料はほぼ輸入。瀬戸内の温暖な気候が栽培に適していることからナッツの耕作放棄地の有効活用を企画した。所有者から借り受けた際は雑木が



ナッツの苗木を植える参加者

4月21日付山陽新聞、備後版

Q1 福山市の豆菓子メーカーは瀬戸内にナッツ畑をつくるプロジェクトを始めました。畑に変えようとしているのは、どんな土地ですか。

Q2 豆菓子メーカーは、4、5年後に収穫できる見込みのナッツをどのように活用しようとしていますか。第3段落が参考になります。

Q3 豆菓子メーカーはなぜこのプロジェクトを企画したのでしょうか。第4段落をよく読み、答えましょう。

過去の問題は
こちらから▶▶



◇「さん太のワークシート」は自由にダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。